



# 都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園  
校長 井上 美保  
令和6年5月1日発行  
5月号

## 【学ぶ】【働く】【暮らす】

校長 井上 美保

入学式から一カ月が過ぎようとしています。一年生もすっかり学校に慣れたようです。

廊下ですれ違くと、「お疲れさまです」と、自然な挨拶が飛び交います。卒業後の社会生活を意識した挨拶は、目を見て語る挨拶へと進化しているようにも思えます。心を込めた「お疲れさまです」には、相手に対する思いやりやいたわりの気持ちを感じられます。自分の立場だけではなく相手の立場に立って物事を考えることができるようになると、自ずと挨拶の仕方も変わってくるでしょう。これからも引き続き大切な挨拶として、続けていきましょう。

さて、先日、全校保護者会がありました。お忙しい中、沢山の保護者の皆様にお越しいただき、感謝申し上げます。当日は、今年度の学校経営計画の目指す方向や基本理念、指導方針を説明させていただきました。そのうえで、生徒たちが主体的に学びに向かうベースを整える『教員の努力』と責任ある個人として主体的に学ぶ『生徒の努力』があってこそ目指す姿が実現すること。両者の努力の交差するところには、先生たちの『生徒理解』と生徒たちの『自己理解』があることについて話をしました。

本校では、昨年度から南大沢UDの導入により、UD5項目を取り入れた分かりやすい授業を展開しています。授業が分かりやすく、落ち着いて学習に取り組むことができれば、生徒の自己肯定感が高まり、主体性が育ちます。さらには、担任と生徒との信頼関係が深まり、学校生活が充実したものとなるでしょう。

昨今の社会状況や教育を取り巻く環境も大きく変わってきましたが、生徒が、在学中のみならず、卒業後も生涯にわたって豊かに幸せに生きていくためには、自ら主体的に学習に取り組み、自分を振り返る経験を通して、学校生活で身に付けた力を社会の中で継続的に活用できる力に般化させていく必要があります。

南大沢学園では、「学ぶ」「働く」「暮らす」を教育目標の軸に据え、生徒自身が、自分の力で仕事に向かう環境を整え、自分の役割に責任をもって働くための知識、技術・技能及び態度を育てていきます。一年生の職業に関する教科(コースの授業)では、トライアル実習が始まり、中学校時代にはなかった学習がスタートしました。二・三年生は本格的なコースの授業が始まっています。本校においては、企業就労を目指して身に付けるべき力はどのコースに所属しても変わりません。体験的な活動を通して、自分は何がどこまでできていて、何ができていないのか、自分自身を振り返りながら、求められる自分に少しずつ近づけるよう努力しましょう。先生たちも皆さんの学びの場が充実できるよう努力していきます。

## 生徒が主体的に学びに向かうベースを整える。

### ～南大沢 UD～

主幹教諭 田島 麗子

令和6年度が始まって、1か月が経ちました。各教科や職業に関する教科の授業、行事等も、本格的に始まっており、生徒達の表情から、新年度の学校生活に少しずつ慣れてきた様子が窺えます。

本校では、南大沢 UD (ユニバーサルデザイン)として、生徒が主体的に学習に取り組める環境を整えています。具体的には、ルールの明確化、教室環境の構造化、スケジュールや活動内容の視覚的提示、学びの焦点化、情報伝達方法の工夫、達成できる目標の設定、将来を見通せる授業づくりなどです。こうした環境で、生徒のみなさんには、先のことに見通しをもち、気持ちを落ち着けて学習に臨み、自身の更なる成長につなげていってほしいと思います。さらに、「どのような環境であれば自分の力を100%発揮できるのか」という気付きを得ることは、将来の働く生活を考える際、また必要な支援を受けながら自ら周囲の環境を整えていく際の、手がかりにもなります。

昨年度12月に実施した生徒アンケートでは、「先生は南大沢 UD を意識した分かりやすい授業をしていると思いますか。」の設問に対して、77.5%の生徒が肯定的に回答しており、自由意見では「先生たちが分かりやすく UD で授業をしてくれるお陰で、メモが取りやすく、分かりやすいからです。」という声も聞かれました。今後も引き続き、全教員で南大沢 UD に取り組んで参ります。

保護者の皆様、地域の皆様、関係諸機関の皆様、今年度も本校の教育活動に、ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 【南大沢 UD の例】



黒板の周囲を整理し、視覚的な刺激を減らしています。 スケジュールを明示して見通しをもちやすくしています。

※学園通信は、UDフォント (ユニバーサルフォント・・・読みやすい、判別しやすい書体) を使用しています。